

グラフィックデザインの曙 — 加藤孝司とシルクスクリーン

The Dawn of Graphic Design: KATO Koji and Silkscreen Prints



加藤孝司《グランド印刷》1965 岐阜県美術館蔵

 岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

2025.11.26 wed - 2026.3.15 sun 10:00-18:00 (12.19 fri, 1.16 friは20:00まで)
休館日:月曜日(祝・休日の場合はその翌平日)、年末年始 2025.12.26 fri -2026.1.5 mon *入場は閉館の30分前まで

入場料:一般340(280)円、大学生220(160)円 ※()内は20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証または登録証の交付を受けている方と
その付き添いの方(1名まで)は無料 *ミライIDが利用できます。

主催:岐阜県美術館

協力:株式会社岐阜セラソク製造所、株式会社昭和紙工、大東化工株式会社、株式会社ミノグループ

グラフィックデザインの曙 — 加藤孝司とシルクスクリーン

The Dawn of Graphic Design : KATO Koji and Silkscreen Prints

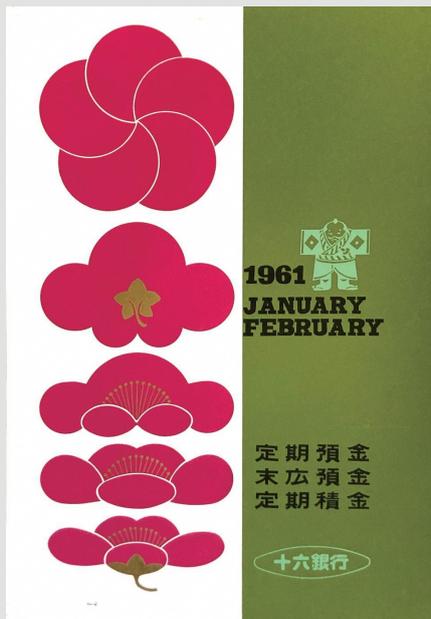
加藤孝司(1916-1998)は、戦後いちはやくデザイン事務所を興し、知的でモダンなセンスと構成の鮮やかさでデザイン界を牽引しました。地元企業や百貨店などのポスターを手掛け、日本宣伝美術会(日宣美)の審査員や大阪万博のデザインコンペに招聘されるなど、グラフィックデザインの最前線で活躍し、その作品は、ニューヨーク近代美術館(MoMA)にも収蔵されています。

近年、高度な手技が美しい孔版印刷が見直されています。シルクスクリーン産業は、美濃和紙を使った謄写版(ガリ版)原紙生産の後継として成長を遂げた、岐阜ゆかりの文化産業です。それぞれの分野のパイオニアは、互いに高め合います。加藤は、「グランド印刷」(シルクスクリーン)で特に優れた手腕を発揮し、インクの厚みや鮮やかな質感を発揮させるデザインは今もなお新鮮です。

本展では、加藤の作品を一挙に公開いたします。デザインや印刷文化に焦点をあてた岐阜県美術館初の企画となります。謄写版からシルクスクリーンへの歴史を辿り、ガリ版原紙最後の蠟引き職人の貴重な光景も現代美術家・藤井光による映像で紹介いたします。



藤井光《ガリ版原紙の現在》2025



加藤孝司《十六銀行 1961年1・2月》1961 個人蔵



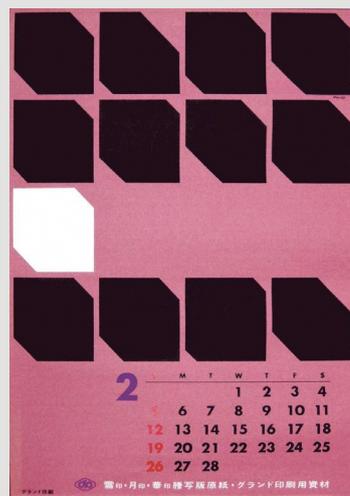
加藤孝司
《作品集no.1より「ア」》
1961
個人蔵



加藤孝司《olivetti blue》1960 個人蔵

Events

- 2025.12.13(sat) 14:00-15:00 展示室2
加藤孝司とシルクスクリーンの魅力/
加藤由朗(加藤孝司長男・デザイナー)
- 2025.12.19 (fri) 18:30-19:30
2026.1.31 (sat) 14:00-15:00 展示室2
担当学芸員によるギャラリートーク
- 2026.3.1 (sun) 14:00-15:30 講堂
美術講座 ガリ版からシルクスクリーン
に続く物語/鳥羽都子(担当学芸員)



加藤孝司《美濃紙業所カレンダー-1961年2月》
1961 ミノグループ蔵



大智浩《観光ポスター・JAPAN》制作年不詳
岐阜県美術館蔵



Access

- 公共交通機関ご利用の場合
- ・JR東海道本線/西岐阜駅 南口から徒歩(約15分)
- ・岐阜バス/鏡島市橋線 JR岐阜駅前 [6番乗場] または名鉄岐阜駅前 [1番乗場] から「市橋」行きに乗車(約15分)⇒「県美術館」下車
- ・岐阜市コミュニティバス/①西ぎふ・くるくるバス(1日7便、市橋地区循環) JR西岐阜駅南口から乗車(約5分、復路約30分)⇒「県図書館・美術館」下車
- ②すまいるバス(1日9便、三里・本荘地区循環)⇒「県図書館・美術館」または「県美術館北」下車

○駐車場のご案内

- ・岐阜県図書館地上・地下駐車場、東・西・南駐車場、軽自動車駐車場をご利用ください。[無料]
- ・車いす等をご利用の場合は、「おもしろい駐車場」をご利用ください。[6台・無料]